



国 労 西 日 本

国労西日本本部

NO. 364

発行責任者 植田 重信
編集責任者 大北 真也

国労西日本HP



国労西日本 検索



植田執行委員長 挨拶(要旨)

仲間との繋がりを強化し 組織拡大を訴えていこう！

国労西日本本部は8月10日、国労大阪会館において第38回定期西日本本部大会を開催し、この一年間の闘いの総括を行ない、安全・安心輸送の確立、労働条件の改善、組織拡大・強化、ローカル線廃止反対、25春闘等の諸課題について向こう一年間の闘う方針を確立しました。

大会は藤野執行副委員長の司会で開会し、代議員22名中21名の出席、執行部12名中11名の出席で大会が成立したことを確認し、議長団は、議長に脇田代議員(近畿)、副議長に北村代議員(米子)が選出されました。

植田執行委員長挨拶があり、来賓あいさつを行ないました。国労本部からは、木村



脇田代議員 北村代議員

執行副委員長と宮崎執行委員が出席し、木村執行副委員長が全国大会の報告や情勢等を報告されました。



経過報告、協約・協定の締結、二〇二四年度運動方針

(案)を提案し、13名の代議員(特別代議員含む)から発言があり、答弁・集約後、採択されました。組織検討委員会報告、大和執行副委員長から決算・予算の提案があり承認されました。ストライキ権確立の投票では満場一致で採択されました。波見執行委員が大会宣言を読み上げ植田執行委員長の団結カンパローで終了しました。

能登半島地震から7カ月が経過したが、安心して暮らせる生活にはまだ至っていない。1日も早い復旧・復興を願うと共に、宮崎、神奈川での地震により不安な日々を送られていることに対し心よりお見舞い申し上げます。

ロシアのウクライナへの軍事侵攻から2年半、イスラエルとハマスの紛争状態が続くなど、何の罪もない人々や子どもたちの尊い命が奪われている。世界で起こっている全ての戦争の即時停戦、平和的解決を望むものである。

◎組織拡大・強化について

今日まで取り組んできた経験、総括した教訓や課題を全組合員が生かし「組織拡大を必ず各地方本部1名以上をやりきろう!」と全力を挙げ「組織拡大・強化」「組織対策会議」の設置、各地方の取り組みの報告と情報共有を全体で再確認し、拡大・強化の意志統一を図ってきた。1年間で2名の拡大を勝ち取り、国労本部から出された5年ビジョンの

5年間で17名の拡大を勝ち取った。組合員の日頃からの活動が結びついていることは明らかである。組織は厳しい状況であるが、今いる組合員が結集し奮闘することが求められている。職場を基礎に国労の運動する姿が拡大への大きな条件であり「国労の運動を見せる・知ってもらう」ためホームページの活用と本部が組織拡大のツールの1つとして進めている「TUNAG」を各地方本部の協力の下、活用・充実を図っているところである。次世代に国労運動の継承と運動、組織の前進に全力を上げようではありませんか。

◎賃上げ、労働条件の改善、安全輸送、公共交通を守る

JR各社では様々な制限が解除され利用率も回復傾向を示している。各社の23年度の決算は黒字計上と赤字幅を圧縮しており、このことは全ての労働者の努力と賃金抑制によるものである。公共交通の安全確保に向けて日々の業務に専念している全ての労働者が安全・

安心と健康な生活、雇用、賃金など生活不安・労働不安の解消に向け、労働条件改善と福利厚生の実・向上が更に求められている。

24春闘はあらゆる産業において大きな影響を与え、物価高騰により暮らし生活は困窮し、大幅賃上げ・全体の底上げと軍拡・増税ではなく、社会保障の充実を求めるもとで闘われた。職場からの闘いを強化し地域と連帯し、各地方本部の闘いにより「有額回答」を引き出し、グループ会社においても同様の回答を引き出すことができたことは、各地方の取り組みと全組合員に感謝を申し上げ「闘わなければ変わらない、要求も前進しない」ことを合言葉に、25春闘へと生かしていく決意である。

西日本会社の第1四半期決算は4期連続の増収・増益であった。社員の生活を守るため、溜め込んできた内部留保の一部を取り崩し、活用することを強く求めると同時に、当面する闘いと貨物会社の24年年末手当国

次ページへ

前ページより

労要求の満額回答をめざし、客貨一体の取り組みを全力で闘い、25春闘に向けて生活実態・賃金アンケートで出される回答をベースに生計費原則での要求討議と要求確立で、全国統一闘争を展開することが重要である。

福知山線脱線事故から19年、伯備線触車事故から18年が経過する中で「安全考動計画2027」の初年度に北陸線での感電事故、山陽線における触車事故により、2名の仲間の尊い命を失う事象が発生した。私たちは「二度と家族や仲間を悲しませる事故を発生させない」決意を1つに『安全』への歩みをしっかりと進めなければならない。

6月に大規模な輸送障害が連続して発生し利用者に多大なご迷惑をおかけする事象があった。JR会社が進めてきた業務の委託化、外注化、効率化、システム化等による要員削減、過酷な勤務実態や技術継承の欠落などしっかりと検証し、安全に必要な要員の確保と抜本的な改善を求め運動を強化しなければならぬ。安全・安心の鉄道輸送の確保、労働条件の改善と健康で安心して働き続けられる職場づく

りをはじめ闘いを進めていく。

JR会社が発足し37年、分割・民営化で引き継いだJRがその使命や役割、極めて重要な社会インフラを担っていることは変わるべきがあつてはならない。「今一度、公共交通とは何なのか」ということを視点として運動を構築していかねければならない。「地域公共交通活性化再生法」が施行され、芸備線について関係する岡山県・広島県をはじめ4市の初会合が3月に行なわれ「回復傾向にあり内部補助で出来ないのか」等の意見が自治体から出され、現在2回の幹事会でデータの収集・実証事業を検討するとしている。「廃止ありきではなく、付帯決議を遵守・責任を持ち、関係地方自治体をはじめ地域住民・利用者の意見・声を十分聞き入れられ、鉄道ネットワークとして地方・地域の活性化やまちづくり、日本全体の社会インフラ、生活ネットワーク、物流システムの観点から国民が安心・安全に社会生活が営めるように国の役割を果たさせなければならぬ。公共交通機関としての役割と鉄道の安全を守るため、労働組合として取り組んでいく決意である。地域住民の移動する権利と安全・

安心の公共交通の確保に向けて、中央本部・地方本部と連携して引き続き運動を強化していく。

◎平和を守る、立憲主義を守る

岸田政権の「新しい資本主義」「新自由主義経済」により国民生活に多大な影響を及ぼしていることに反省をしていない。社会保障制度をはじめ医療体制の充実と拡充、真の経済対策、外交・安全保障、「政治とカネ」の問題、災害に強い基盤づくりなど国民が安心して暮らせる社会の再建が求められている。憲法破壊と国民生活無視の悪政を続ける岸田自公政権と改憲勢力に対峙し、日本と世界の恒久平和を実現するために、大軍拡と改憲を許さない国民的運動をひろげ岸田政権が急加速する『戦争する国づくり』や改憲実行発言の暴走を終わらせるため、自民党政治にNOを突きつけ、立憲主義、平和的生存権を守り、真の野党共闘の推進が大変重要な時である。

大会の成功と全組合員の総決起を訴えると同時に全ての闘いに全力をあげる決意を申し上げて西日本本部執行委員会を代表してのご挨拶とします。共に頑張りましょう。

来賓挨拶

ありがとうございました!



日本共産党 清水前衆議院議員



社会民主党大阪府連合 長崎代表



大阪労連 菅議長

2024年度 執行部任務分担		
役職	氏名	任務分担
執行委員長	植田重信	総括、総務、法対
執行副委員長	藤野能章	業務総括
執行副委員長	大和忠昭	財政部長、貨物担当部長
書記長	大北真也	企画部長、共闘部長、教宣部長、家族会、共済担当
執行委員	倉下文明	業務、中国統括本部担当
執行委員	中本博次	調査・福祉対策部長
執行委員	伊野活行	組織部長、賃金対策部長
執行委員	河野宏幸	業務部長
執行委員	波見健一	業務、組織
執行委員	谷澤由紀恵	青年・女性対策部長、組織
会計監査員	岡出智浩	
会計監査員	石割嘉夫	
書記	上嶋聡	



国労本部 宮崎執行委員



国労本部 木村執行副委員長



こくみんCOOP共済 田口課長



大会で説明する 野々口氏

備えが大事! 問い合わせは 国労大阪会館へ

がん保険にできることを、もっと。

NEW 生きるを創るがん保険 WINGS

No.1 アフラックがん保険 標準特約付帯サービス

1 幅広い保障で 経済的負担をサポート

2 付帯サービス「アフラックのむきそがん相談サポート」
アフラックのよりそうがん相談サポートが さまざまな悩みの解決をサポート

アベニール株式会社
〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5 交通ビル3階
TEL.03-3437-6810 FAX.03-3437-6822

アフラック がん保険 標準特約付帯サービス
東京第二法人営業部
東京都千代田区丸の内1-6-1
丸の内センタービル19階
TEL.03-6385-9829 FAX.03-3218-3885